

元気かいた

第18号

(発行・編集)
JR九州労組
退職者連絡会

熊本地区本部

(発行責任者)
山下 和美
(編集責任者)
編集グループ

「コロナ禍」の中で51名が 新たな仲間になりました。

昨年始めから、新型コロナウイルスが世界的に大流行となり、1年10ヶ月を過ぎた現在でも、「緊急事態宣言」と「まん延防止等措置」が繰り返されるなかで不要不急の外出自粛など日常生活が奪われて私たちの暮らしにも不安や困難を抱え込み更に第6波の感染拡大が懸念されるなど「コロナ収束」の兆しが見通せない状況です。

このコロナ禍の中、定期総会で決定した「交連共済学習会」「親睦ゴルフ大会」「グルメ懇親会」などの行事を延期し、コロナ感染症の拡大状況を注視してきましたが、コロナ感染症が減少することが困難であると判断し正式に幹事会で「中止」するに至りま

した。

退職者連絡会の目的であります「会員相互」の「親睦と交流」を図ることが出来ず、皆さんには大変申し訳ありませんでした。

このようなコロナ感染症の状況でありましたが、第14回定期総会で方針化された会員拡大に取り組んできました。

JR労組熊本地方本部や会員の皆さんのご協力を頂き会員拡大目標「350名」達成しようとして活動してきました。今年期中にはありますが、更新された新たな拡大目標が設定された「370名」の会員拡大達成ができました。

一方では、岸田内閣は誕生しましたが、難題政策がありながら国会も開かず解散総選

挙に打って出てしまいました。

私たち退職者連絡会は、高齢者が安心して暮らしていく政策実現を図るため、熊本県連合、JR九州労組が推薦する候補者の当選にむけ取り組んできました。

新型コロナウイルス禍で、初の大型国政選挙となる衆議院選挙の争点は、コロナ対策と経済対策、「安倍・菅政権」への評価、又アベノミクスは富裕層ばかりが潤って格差を広げてしまったなどがありましたが、結果として国民の民意を得ることは出来ませんでした。

熊本県内の小選挙区でも、自公政権の批判票の受け皿をめざし候補者を一本化して選挙戦に臨みましたが、議席を

得ることが出来ませんでした。会員の皆さん方の期待にこたえる結果を残す事ができず申し訳ございませんでした。

これからそれぞれの機関会議で敗因の原因、共闘のあり方など選挙総括が行われます。

その検証結果を踏まえ、これからの選挙活動に活かしていく決意です。さっそく来夏には参議院選挙が行われます。めげず、くじけず次に立ち向かいたいと考えています。

会員の皆さんの、これからもご協力頂きますようお願い致します。

JR九州労組退職者連絡会 第15回定期総会が 開催されました。

JR九州労組「退職者連絡会」第15回定期総会が11月8日(月)福岡市「博多バスターミナルビル」にて、役員(9名)、代議員(21名)をはじめJR九州労組「地区担当者」(5名)、

来賓(3名)を含む、38名が参加し開催された。冒頭あいさつに立った高

田副会長より「2年ぶりの開催に多くの方々に集まっていたいただき感謝します。しかし、取り巻く環境で2年後にはJR採用者がいなくなるため新規加入の拡大ができない状況になるため、現名簿の掘り起こしを余儀なくされる」と挨拶がありました。

安井会長より今年で結成18年になります。これまでの取り組みに感謝することでも、目標としていた組織数が2000名を超えました。

これまでを振り返ると自然災害が多く発生した九州北部豪雨災害に始まり、熊本地震、令和2年人吉豪雨、今なお猛威を振るっている「コロナ」など、多くの天災等が発生し、お見舞いや支援の取り組みを行ってきた。今後も何が起るかわからないが、退職者連絡会として引き続き活動を強化していきたい。最後に今期を最後に会長の座を退きたい。これまでの取り組みに感謝申し上げます。

役員改選については安井会長が退任し、後任の会長に高田副会長が就任し、熊本から坂本副会長に吉永幹事が就任しました。

新規加入者

- ◇藤崎 寛昭 (熊本鉄道事業部本所)
- ◇竹田 一英 (熊本駅)
- ◇平瀬 径寿 (大牟田駅)
- ◇小川 良一 (シヨイロード八代)
- ◇高澤 亮吉 (人吉駅)
- ◇堤 幸人 (新水俣駅)
- ◇朝倉 公一郎 (熊本支社 総務企画課)
- ◇荒木 光男 (JR九州旅行 小倉支店)
- ◇荒牧 宝
- ◇永木 武司 (運行管理部)
- ◇岩崎 昇一 (熊本支社 総務企画課)
- ◇古林 瑞毅 (熊本乗務センター)
- ◇栗田 眞一 (久留米運輸センター)
- ◇白石 道人 (熊本乗務センター)
- ◇柴田 茂 (熊本乗務センター)
- ◇中原 博徳 (熊本工務センター)
- ◇渡辺 盛雄 (熊本乗務センター)
- ◇京地 信哉 (熊本乗務センター)
- ◇河野 祥孝 (JR九州旅行熊本支店)
- ◇岡村 雅夫

「お知らせ」

退職者連絡会熊本地区本部

第15回定期総会

日時 2021年12月14日(火)

13時30分～

場所 九州労働金庫熊本駅前支店

会員皆さまの奮っての

参加をお待ちしています。

退職者連絡会熊本地区本部会員の皆さんには、日頃から大変お世話になっております。本年7月末をもってJRを定年退職し、8月から退職者連絡会に仲間入りさせて頂いた頂きました中原博徳です。退職者連絡会青年部(笑)の一員として頑張りますのでよろしくお願ひします。先ずは自己紹介ですが、出身職場は「熊本工務センター」です。41歳でJR九州労組中央本部の専従執行委員となり、以降退職まで組合でお世話になりました。熊本の皆さんとは久

お世話になりました 前中央執行委員長 中原 博徳

しぶりになりますので何かとご指導願ひします。私自身退職者連絡会については、結成当時から関わらせていただきましたので大変愛着を感じていますし、熊本地区本部が発行している「元気がいた」も毎回楽しみに拝見してまいりました。退職者連絡会のモットーである「退職後の親睦と交流」が、新型コロナ感染症によつてなかなか難しく実行できない状況ですが、一日も早く終息し、皆さんと再会できる日を楽しみにしています。

人吉からの 現状報告

まさか！と思った。あの水害から1年2ヶ月が過ぎ私達もどうにか落ち着いた生活を少しづつですが取り戻しつつあります。あの時のわが家を見た時の衝撃は忘れられませんが、今でも鮮明に覚えてい

ます。しかしその不安もすぐやわらぎました。連日、JR退職者の人達を始め多くの人が汗まみれになりながら、泥出しや山のように溜まったガレキの撤去等をしてもらいました。夏の暑い中の作業に本当に頭の下がる思いでした。まだまだ、元の生活には程遠い状況ですが皆さんからいただいたパワーを素に100%の復活に向って元気に頑張っています。本当にありがとうございます。ごさいました。

菊池 公信

昨年7月4日に球磨川が氾濫し私もかつて経験したことがない床上浸水という災害にありました。

当時は何から手をつけていかもわからず右往左往していた記憶があります。その後はJR時代の仲間や親戚の献身的な手伝いにより幸いにして4ヶ月の11月初めには住める状態になりました。

この間JR九州労組の皆様には現退一致したご支援を頂きました現在まだ現職で仕事をぼちぼち頑張っています。皆様方本当にありがとうございます。

森岡 登